

▼タクザイロ皮下注シリンジ [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ラナデルマブ（遺伝子組換え） Lanadelumab（Genetical Recombination） 【分類】 遺伝性血管性浮腫発作抑制用 血漿カリクレイン阻害剤 [完全ヒト型抗ヒト血漿カリクレインモノクローナル抗体]

【単位】 ▼300mg/Syr [2mL]

【常用量】 1回 300mg を 2 週間隔 [安定時は 4 週間間隔も可]

【用法】 皮下注 [腹部, 大腿部, 上腕部のいずれか]

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1)

【特徴】 血漿カリクレインの基質切断活性に対する阻害薬で、遺伝性血管性浮腫の急性発作の原因となるブラジキニンの過剰な放出を抑制する。急性発作の治療を目的には使用しない。

【主な副作用・毒性】 アナフィラキシー、注射部位反応、浮動性めまい、かゆみ、肝機能検査値異常、筋肉痛など

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】 15.5 日 (1)

【蛋白結合率】 該当しない (5)

【Vd/F】 13L/body (1)

【MW】 約 14.9 万

【透析性】 除去されない (5)

【O/W 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【備考】 令書保管。冷蔵庫から出した後は 25℃以下で保存し 14 日以内に使用 (1)

【更新日】 20230316

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。